水俣病60年記念事業のうちの 水俣病図書目録と水俣展図録の作成

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-34-12-404 電話:03-3208-3051

E-mail:mf1997@minamata-f.com http://www.minamata-f.com



ひろげる助成 3年目 知識の提供・普及啓発



水俣病図書目録を周知した 300件 大学施設 水俣展図録の発刊 3.000部

今年度計画の達成度

70%

活動の全体目標に対する達成度

80%

苦労した点と工夫した点

■工夫した点

水俣病図書目録に関し 載する実物の収集に腐心引」に工夫を凝らした。 した。

水俣病図書目録の作成 ては収載基準をどのよう にあたり、読者が各書籍に に設定するかということ、 アクセスをしやすいように 水俣展図録に関しては収 掲載する「分類」や「各種索

水俣病の関連書籍は多岐にわたるものの、ガイド機能を果たす図 書目録が存在しないため、自身の関心や問題意識から水俣病を学ぼ うとする者にとって大変不便な状態にある。

水俣病60年記念事業の「水俣展」全面リニューアルと機を合わせ、 学校教育・社会教育を通じて水俣病の問題に触れる人々をさらに増 やし、環境意識の深化・向上に寄与する。

活動内容と成果

13万7,427人の入場者を得てきた「水俣展」は、「水俣病60年事 業」の一つとして全面リニューアルするが、この作業と並行して、全展 示物を収載した『水俣展図録』を初めて制作・発行した。この図録は、 常に要望が多い「1冊で水俣病のすべてがわかる本」にもっとも近い ものといえる。また、水俣病に関する資料のうちニーズが高い「図書 総目録」が存在していないことから、406点の図書の書誌情報・紹介 文・3種索引を含む『水俣病図書目録』を作成するとともに、約300ヵ 所の大学・図書館・環境関連施設に周知を行った。



全助成期間の活動を振り返って

水俣病に取り組んできた多くの団体や個人の協力を得て、『水俣 展図録』、『水俣病図書目録』の2冊の書籍を作成することができた。 2016年の熊本地震により、地元協力者である熊本・水俣の団体・個 人が震災の影響を受け、事業計画を大幅に組み替えざるを得ない状 況もあったが、両書の刊行は関係者から高い評価が得られ、今後の 活動に向けて意義の大きい活動に取り組めたと考えている。



今後の

『水俣展図録』、『水俣病図書目録』の類書のない2 冊が刊行できたが、両書をいかに一般の人々の有効 利用につなげられるかが、次年度以降の大きな課題

と考えている。『水俣病図書目録』は、数年ごとに改訂し、内容を アップデートさせていく計画である。また、水俣や熊本の地元団 体とのつながりがより密接になったことに加え、新たな専門家 との接点も広がったことから、今後は他の活動にもそれらを活 かしていきたい。